

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メイク実習 I		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	阿部 友美
授業の概要				
・スキンケア、メイクアップの基礎知識と技術を養う				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容部員としての身だしなみ、知識を習得</li> <li>・顔立ちを理解したベーシックメイクができる</li> <li>・ケサランパサランメイクアップ検定合格</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験、次回課題に向けた事前準備</li> <li>・ブランド、企業研究(夏休みの宿題)</li> </ul>				
回	テーマ	内容		
1~ 2	化粧品、顔立ちについての基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツールの名称、使用方法、お手入れ方法について</li> <li>・各部位の名称及び特徴と印象・顔立ちについて</li> </ul>		
3~ 4	色の知識、形と印象 セルフメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の基礎知識・様々な形と印象・目の錯覚効果</li> <li>・セルフメイク実技(印象管理)</li> </ul>		
5~ 13	ベーシックメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーシックメイク実技(各パーツ毎)</li> <li>・トータルメイク実技</li> </ul>		
14~ 18	ケサランパサランメイクアップ検定 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナチュラルメイク実技・キュートメイク実技</li> <li>・エレガントメイク</li> </ul>		
19~ 20	ベーシックメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トータルメイク実技</li> </ul>		
21~ 23	ケサランパサランメイクアップフォ トコンテスト作品写真撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作</li> <li>・写真撮影</li> </ul>		
24~ 26	ベーシックメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トータルメイク実技</li> </ul>		
27~ 29	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期期末実技試験確認テスト(ベーシックメイク)</li> </ul>		
30~ 32	ケサランパサランメイクアップ検定 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定テーマに沿ったトータルメイク実技</li> </ul>		
33~ 35	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケサランパサランメイクアップ検定確認テスト</li> </ul>		
36~ 37	ケサランパサランメイクアップ検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内検定実施</li> </ul>		
38	ボディアート、ボディジュエリー実 習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディアート、ボディジュエリー実技</li> </ul>		
39~ 46	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンワーク実習(メイクサロン)対応練習</li> </ul>		
47~ 48	特殊メイク特別授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷メイクデモンストレーション</li> <li>・傷メイク実習</li> </ul>		
49~ 50	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンワーク実習(メイクサロン)対応確認テスト</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
51～ 54	修了制作写真撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品制作</li> <li>・ 写真撮影</li> </ul>		
55～ 58	トレンドメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トータルメイク実技</li> </ul>		
59～ 60	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期期末実技試験確認テスト(トレンドメイク)</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布プリント</li> </ul>		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル実習 I		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	大西 歩未
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルに関する基本的な知識と技術を学ぶ</li> <li>・ネイルケアの技術とネイルアートを学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト技能検定試験3級合格</li> <li>・ネイルケアとアートに関する基本的な技術の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等15年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
検定記述試験に向けた過去問題の答練				
回	テーマ	内容		
1~3	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト技能検定試験について</li> <li>・ネイルの歴史、ネイル技術体系、爪の構造と働き</li> </ul>		
4~5	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーツを使ったアート制作</li> </ul>		
6	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルのための皮膚科学、生理解剖学</li> <li>・爪や皮膚の病気とトラブル</li> </ul>		
7~8	テーブルセッティングとネイルケア手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なテーブルセッティングとネイルケア手順</li> </ul>		
9	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒法・トリートメント理論</li> <li>・化粧品学・色彩理論</li> </ul>		
10~11	カットスタイルの種類とファイリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カットスタイルについて</li> <li>・カットスタイル別ファイリング</li> </ul>		
12	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロフェッショナルリズム・ネイルカウンセリング</li> <li>・ネイルサロン環境・衛生基準と関連法規</li> </ul>		
13~14	クリーンナップとカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタルプッシャーとキューティクルニッパーの使い方・カラーリングの方法</li> </ul>		
15~16	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アート筆の使い方</li> <li>・アートの描き方と陰影の付け方</li> </ul>		
17~18	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作</li> </ul>		
19~20	ケアカラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカラー手順の確認</li> <li>・道具の使い方を再確認</li> </ul>		
21~26	ケアカラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカラー実技</li> </ul>		
27~32	前期期末実技試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60分での両手ケアとカラーリング</li> </ul>		
33~35	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60分での両手ケアとカラーリング</li> </ul>		
36~37	リペアテクニック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リペア使用材料について</li> <li>・リペア技術</li> </ul>		

回	テーマ	内容		
38～ 40	リペアテクニック	・相モデルでのリペアとケアカラー技術		
41～ 46	検定対策	・検定試験内容での実技 ・筆記模擬テスト		
47～ 49	確認テスト	・検定試験内容での実技確認テスト ・筆記確認テスト		
50～ 52	検定対策	・検定試験内容での実技最終チェック		
53～ 54	ネイルアート	・テーマに沿った作品制作		
55～ 58	後期期末実技試験対策	・30分での両手ケアと30分でのカラーリング		
59～ 60	確認テスト	・30分での両手ケアと30分でのカラーリング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・JNAテクニカルシステムベーシック		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥・かぶれ等注意。キューティクルニッパの取り扱い注意。接着剤使用時皮膚に触れないよう注意。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メイク実習Ⅱ		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	岸本 佳子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテスト作品の制作、写真撮影を主としてメイクを学習する</li> <li>・ヘアメイクにおける応用力を学習する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用力を身につけた上で実践で使えるメイク、ヘアアレンジの習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		高松を拠点にヘアメイクとして10年以上勤務 婚礼業、広告撮影、セミナーの経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課題に向けて事前準備を行う</li> </ul>				
回	テーマ	内容		
1~6	ラグゼビューティヘアメイクフォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサン作成</li> <li>・作品制作</li> </ul>		
7~13	ケサランパサランメイクアップフォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサン作成</li> <li>・作品制作(7/9撮影予定)</li> </ul>		
14~15	セルフヘアメイク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動用セルフヘアメイク実習</li> </ul>		
16~19	ヘアアレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに沿った基本～応用ヘアアレンジ</li> </ul>		
20~22	ヘアメイク作品写真撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに沿ったヘアメイク作品制作</li> <li>・写真撮影</li> </ul>		
23~30	修了制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサン作成</li> <li>・作品制作</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	70.0%	
		出席率	20.0%	
		授業態度	10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル実習Ⅱ		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大西 歩未
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルに関する幅広い知識と技術を学ぶ</li> <li>・3D等のアートテクニック、チップラップ技術を学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト技能検定試験2級合格</li> <li>・サロンワークで通用するネイルケア、アート技術等の習得</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等15年の認定講師経験を生かした教育を行う			
時間外に必要な学修				
検定記述試験に向けた過去問題の答練				
回	テーマ	内容		
1～3	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パウダー、リキッドの扱い方</li> <li>・エンボスアート実技</li> </ul>		
4～5	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンボスアートを使った作品制作</li> </ul>		
6～7	ポリッシュカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラデーションネイル</li> </ul>		
8～9	ポリッシュカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレンチネイル</li> </ul>		
10～11	ポリッシュカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト検定試験2級指定色でのカラーリング</li> </ul>		
12～13	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト検定試験2級テーマのアート制作</li> </ul>		
14～15	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穴吹コンテスト実技内容</li> </ul>		
16～17	チップラップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーション</li> <li>・チップラップ実技</li> </ul>		
18～20	ケアカラーとチップラップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト検定試験2級指定色でのカラーリングとチップラップ</li> </ul>		
21～26	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験内容での実技と筆記試験対策</li> </ul>		
27～30	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験内容での実技</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JNAテクニカルシステムベーシック</li> </ul>		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥・かぶれ等注意。キューティクルニッパの取り扱い注意。接着剤使用時皮膚に触れないよう注意。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
着付実習		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	田中 真由子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物文化を身近に感じ日本女性の感性、所作、礼儀作法を養う</li> <li>・社会で即戦力になる技術を養う</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山野流着装 初伝資格取得</li> <li>・山野流着装 中伝資格取得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として3.5年の実務経験 新しく国家資格となった美容着付師資格も取得し、多数の知識も授業を通し伝える		
時間外に必要な学修				
着付け手順を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1	下着と小物類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動機付け</li> <li>・使用小物や着物についての説明および使い方</li> </ul>		
2	着物、着付けの知識 外出時の着付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自装着付け</li> <li>・展示・着物および着付けに関して約束事や知識の説明</li> </ul>		
3	ゆかたの着付け 細帯の帯結び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識・着物とゆかたの着付けの違い</li> <li>・細帯の結び方</li> </ul>		
4~ 7	外出着の着付けと名古屋帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自装着付け</li> <li>・名古屋帯(お太鼓)の結び方</li> </ul>		
8	ゆかたの着付け 細帯の帯結び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物とゆかたの着付けの違い</li> <li>・細帯の結び方</li> </ul>		
9	初伝資格取得試験について説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備、着付け、片付けの展示</li> <li>・確認テスト、資格取得について説明</li> </ul>		
10~ 12	初伝資格取得試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付けタイム20分</li> <li>・準備、片付け、査定時の作法</li> </ul>		
13	ゆかたの着付け 細帯の帯結び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物とゆかたの着付けの違い</li> <li>・細帯の結び方</li> </ul>		
14~ 15	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外出着小紋と名古屋帯の一重太鼓」の着付けおよび着付けに必要な準備、片付け(鏡なし)</li> </ul>		
16~ 17	初伝資格取得試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外出着小紋と名古屋帯の一重太鼓」の着付けおよび着付けに必要な準備、片付け(鏡なし)</li> </ul>		
18	着物、着付けの知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物、着付けの知識</li> <li>・着物知識について</li> </ul>		
19~ 20	留袖着付けと帯結び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代、体型に応じてえり合わせ 帯結び・相モデルにてミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓</li> </ul>		
21~ 26	中伝資格取得試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間内(20分)に着付けできるように実習</li> <li>・着付け上での作法習得</li> </ul>		
27~ 28	確認テスト 中伝資格取得試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓」を合モデルにて時間内(20分)着付け</li> </ul>		
29	中伝資格取得試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓」を合モデルにて時間内(20分)着付け</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
30	1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間の反省と抱負、奥伝の動機付け</li> <li>・ 整理整頓片付け</li> </ul>		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山野流着装教室初伝教本</li> </ul> 着付け手順を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく	確認テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック実習		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	上田 陽子
授業の概要				
・エステティックに関するフェイシャルの基礎技術を理解する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン合格レベルの知識と技術の習得</li> <li>・フェイシャルトリートメントに用いる基本手技の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして20年、認定講師として10年の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	フェイシャルトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルエステティックの流れ</li> <li>・事前準備</li> </ul>		
3~10	フェイシャルトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントメイクオフ~クレンジング</li> <li>・拭き取り(コットン、スチームタオル)</li> </ul>		
11~20	フェイシャルトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージ</li> </ul>		
21~23	フェイシャルトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パック塗布</li> </ul>		
24~27	フェイシャルトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘導、クレンジング、マッサージ、パック塗布、仕上げ</li> </ul>		
28~30	フェイシャルトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学(技術編I)</li> <li>・AJESTHE理論と技術</li> </ul>		確認テスト 出席率	80.0% 20.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ジェルネイル実習		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	大西 歩未
授業の概要				
・ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・ジェルネイル技能検定試験初級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等15年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
検定記述試験に向けた過去問題の答練				
回	テーマ	内容		
1~ 2	ジェルネイル基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎理論</li> <li>・ジェルネイル基礎技術</li> </ul>		
3~ 6	ジェルネイル技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルカラーリングの基礎</li> <li>・ジェルアート技術</li> </ul>		
7~ 12	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級検定試験内容での実技</li> <li>・筆記試験対策</li> </ul>		
13~ 15	ジェルネイル検定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級筆記試験</li> <li>・実技確認テスト</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配付プリント		確認テスト 出席率	80.0% 20.0%	ネイル材料については火気厳禁、保存時密栓、直射日光や高温多湿を避ける。皮膚に直接接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥・かぶれ等注意。ジェルが皮膚に付着したままにならないよう注意。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アロマセラピー		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	3単位(46時間)	必須	小野坂 友子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの基礎知識を身につけアロマセラピー検定内容を理解する</li> <li>・香りに興味を持ち、心と身体に役立つアロマセラピーを正しく理解する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピー検定2級合格</li> <li>・アロマセラピー検定1級合格レベルの知識の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		アロマインストラクターとして22年の実務経験を生かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	アロマセラピーの基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの定義と精油について</li> <li>・精油スイートオレンジ、ゼラニウム</li> </ul>		
2	精油の定義と性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の部位の役割と精油の関係</li> <li>・精油ティートリー、フランキンセンス</li> </ul>		
3	精油の抽出方法と選び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の抽出方法</li> <li>・精油ペパーミント、ユーカリ</li> </ul>		
4	精油の安全な使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の安全な使用方法と注意事項</li> <li>・精油ラベンダー、レモン</li> </ul>		
5	アロマセラピーの基材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの基材と性質</li> <li>・精油ローズマリー、ローズオットー</li> </ul>		
6	アロマセラピーに使用する用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーに必要な用具と選び方</li> <li>・精油ローズアブソリュート、イランイラン</li> </ul>		
7	アロマセラピーの利用法①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香浴法・アロマスプレーの作り方</li> <li>・精油クラリセージ、グレープフルーツ</li> </ul>		
8	アロマセラピーの利用法②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沐浴法・吸入法</li> <li>・精油ジュニパーベリー、スイートマージョラム</li> </ul>		
9	アロマセラピーの利用法③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルスチーム・湿布法</li> <li>・精油ベルガモット、レモングラス</li> </ul>		
10	アロマセラピーの利用法④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリートメント法・セルフトリートメント</li> <li>・精油ローマンカモミール、ジャーマンカモミール</li> </ul>		
11	アロマセラピーのスキンケア①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンローション・クリームの作り方</li> <li>・精油サンダルウッド、サイプレス</li> </ul>		
12	アロマセラピーのスキンケア②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレイパックの作り方</li> <li>・精油ブラックペッパー</li> </ul>		
13	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期期末試験</li> <li>・アロマセラピー検定対策</li> </ul>		
14	精油が心身に伝わる仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嗅覚器や皮膚からの経路</li> <li>・精油メリッサ</li> </ul>		
15	睡眠・ストレスとアロマセラピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康生活に役立つアロマセラピー</li> <li>・精油ミルラ</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
16	女性ホルモンとアロマテラピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油と女性ホルモンの関係</li> <li>・精油ベンゾインレジノイド</li> </ul>		
17	アロマテラピーのヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな悩みに役立つアロマレシピ</li> <li>・精油ベチバー</li> </ul>		
18	アロマテラピーの歴史①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代の歴史と香りの関わり</li> <li>・精油パチュリ</li> </ul>		
19	アロマテラピーの歴史②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世の歴史と香りの関わり</li> <li>・精油ジャスミン</li> </ul>		
20	アロマテラピーの歴史③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世から近代の歴史と香りの関わり</li> <li>・精油確認テスト</li> </ul>		
21	アロマテラピーの誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマテラピー誕生と日本の香り歴史</li> <li>・精油香りテスト</li> </ul>		
22	アロマテラピーと法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマテラピーに関わる法律</li> </ul>		
23	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期期末試験</li> <li>・アロマテラピー検定対策</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマテラピー検定公式テキスト</li> <li>・アロマテラピー検定公式問題集</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度 確認テスト	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
皮膚科学		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	16回	2単位(32時間)	必須	上田 陽子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の働きと基礎知識を理解する</li> <li>・お客様の肌状態に応じたホームケアアドバイスができる皮膚の基礎知識を学習する</li> <li>・日本化粧品検定2級の範囲に含まれる皮膚科学知識を学習する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして20年認定講師として10年の勤務経験を生かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	皮膚の基本知識 (生体における皮膚の役割)	・4つの役割を理解する		
2	皮膚の基本知識 (皮膚の構造と働き)	・皮膚表面の基本的な構造と働き、表皮、表皮付属器官、真皮、皮下組織の基本的な構造と働きを理解する		
3	美容上大切な皮膚の6つの働き (皮脂膜、角質層バリア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮脂膜の役割を理解する</li> <li>・角質層バリアの働きを理解する</li> </ul>		
4	美容上大切な皮膚の6つの働き (ターンオーバー、毛細血管の働き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表皮ターンオーバーとそのリズムの変化を理解する</li> <li>・毛細血管の役割を理解する</li> </ul>		
5	美容上大切な皮膚の6つの働き (メラノサイトの働き)	・紫外線刺激とメラニン生成のプロセスを理解する		
6	美容上大切な皮膚の6つの働き (線維芽細胞、皮膚の働き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線維芽細胞の働きを理解する</li> <li>・皮膚の働きの相互関連を理解する</li> </ul>		
7	肌の美しさを損ねる要因 (紫外線、寒気、乾燥)	・それぞれの要因と肌への影響を理解する		
8	肌の美しさを損ねる要因 (加齢、女性のリズム)	・それぞれの要因と肌への影響を理解する		
9	肌の美しさを損ねる要因 (ストレス、胃腸の不調、生活習慣)	・それぞれの要因と肌への影響を理解する		
10	さまざまな肌状態 (肌意識の年代変化、美しい肌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい肌像と肌悩みは鏡面関係にあることを理解する</li> <li>・4つの肌タイプの分類を理解する</li> </ul>		
11	さまざまな肌状態 (衰えた肌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衰えた肌の状態、要因、ケアのポイントを押さえる</li> <li>・年代別の肌状態について理解を深める</li> </ul>		
12	さまざまな肌状態 (色素沈着を起こした肌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な美白ケアのポイントを押さえる</li> <li>・日焼け後の効果的なケアを理解させる</li> </ul>		
13	さまざまな肌状態 (ニキビ、肌荒れと敏感)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニキビの4つの状態を理解する</li> <li>・アトピー性皮膚炎について理解する</li> </ul>		
14	肌と環境・肌分析	・肌と地域気候の関係、季節を後追いする現象を理解する		
15	肌と環境・肌分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肌分析を行う上で考慮すべきポイントを理解する</li> <li>・肌タイプの分類を理解する</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
16	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確認テスト</li> <li>・ 前期期末試験</li> </ul>		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・ 新エステティック学(理論編 I)	期末試験 出席率 確認テスト	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パーソナルカラー		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	23回	3単位(46時間)	必須	上杉 康代
授業の概要				
・美容業界で活用できる色彩知識とパーソナルカラーの基礎知識と色を見分けるポイントを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		商品開発職として通信販売会社に6年勤務 その商品開発職で培った色彩知識を生かし検定合格を目指した教育を行う		
時間外に必要な学修				
授業内容を復習し理解することに加えて日々、美容やファッションを中心に色彩に興味を持つ				
回	テーマ	内 容		
1	パーソナルカラー検定について	・パーソナルカラーとは		
2	色の属性	・色の成り立ちや色相、明度、彩度、清濁を理解する		
3	色のものさし①	・PCCSとは、PCCSの色相環を作成する		
4	色のものさし②	・トーンとは、その成り立ちや各色調、感情効果を理解する		
5	色を見るための条件	・色を見るための3つの条件を理解する		
6	色彩の心理効果	・色の心理効果を理解する		
7	フォーシーズン分類①	・春のグループの色を理解しコラージュを作成する		
8	フォーシーズン分類②	・夏のグループの色を理解しコラージュを作成する		
9	フォーシーズン分類③	・秋のグループの色を理解しコラージュを作成する		
10	フォーシーズン分類④	・冬のグループの色を理解しコラージュを作成する		
11	基本の配色法①	・色相を基準にした配色を理解する		
12	基本の配色法②	・トーンを基準にした配色を理解する		
13	前期期末試験 基本の配色技法	・前期期末試験 ・基本の配色技法を知る		
14	色素について	・肌、髪、目に関係する色素を知る		
15	パーソナルカラー診断①	・似合う色の効果を確認する		

回	テ ー マ	内 容		
16	パーソナルカラー診断②	・ 似合う色の効果を確認する		
17	パーソナルカラー診断③	・ 似合う色の効果を確認する		
18	パーソナルカラー活用法	・ パーソナルカラーの効果的な取り入れ方を知る		
19	過去問答練①	・ 過去問題を解き検定問題の傾向を知る		
20	過去問答練②	・ 過去問題を解き検定問題の傾向を知る		
21	過去問答練③	・ 過去問題を解き検定問題の傾向を知る		
22	後期期末試験 過去問答練④	・ 後期期末試験 ・ 過去問題を解き検定問題の傾向を知る		
23	検定直前対策	・ これまで解いた過去問題等から正解率の低い問題を中心に再度解く等、本番に備える		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 色彩技能パーソナルカラー検定公式テキストモジュール1 ・ 新配色カード199a		期末試験 出席率 授業態度 課題・レポート	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック理論		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	上田 陽子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックに関する基礎的な知識を養う</li> <li>・エステティックの全体像を理解しエステティシャンとしての社会的な役割と使命感、基本的な心構えを学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックの業務を実行していくために最小限度必要とするエステティック及びエステティックに関係する基本的、基礎的な知識の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして20年、講師として10年の経験を生かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	エステティックとは	・エステティックとは何かを理解する		
2	エステティックとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックの本質と領域を理解する</li> <li>・エステティシャンとしての心構えを理解する</li> </ul>		
3	エステティックとは	・法の基礎知識を踏まえ、エステティックと法律を理解する		
4	エステティックとは	・消費者保護のための政策を理解する		
5	エステティックとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定商取引法、割賦販売法を理解する</li> <li>・エステティック業界の統一自主基準を理解する</li> </ul>		
6	エステティックの基礎知識	・ボディエステティックの目的と効果を理解する		
7	エステティックの基礎知識	・フェイシャルエステティックの目的と効果を理解する		
8	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> <li>・前期期末試験</li> </ul>		
9	公衆衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生とは何かを学ぶ</li> <li>・世界と日本の公衆衛生の歴史を学ぶ</li> </ul>		
10	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生」の言葉の意味を正しく理解する</li> <li>・物理的消毒方法を学ぶ、科学的消毒方法を学ぶ</li> </ul>		
11	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施術で皮膚に接する器具・用具類の消毒方法を学ぶ</li> <li>・紫外線消毒と高圧蒸気滅菌を理解する</li> </ul>		
12	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン内の施設・設備の衛生管理を考える</li> <li>・エステティシャンの衛生管理を考える</li> </ul>		
13	感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症のメカニズムを理解する</li> <li>・病原微生物の比較を学ぶ</li> </ul>		
14	感染症	・エステティックに関連する感染症を学ぶ		
15	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> <li>・後期期末試験</li> </ul>		

回	テーマ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	・AJESTHE認定フェイシャルボディエステ ティシャン理論と技術	期末試験 出席率 確認テスト	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品学		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	2単位(40時間)	必須	阿部 友美
授業の概要				
・化粧品についての基礎知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本化粧品検定2、3級合格</li> <li>・美容部員、ネイリストとして化粧品の説明ができるレベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・日本化粧品検定に向けて授業の復習を行う				
回	テーマ	内容		
1~3	化粧品の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンケアの基本・肌悩みの対処法・スペシャルケア</li> <li>・お手入れの手順・メイクアップの基本</li> </ul>		
4	確認テスト 日本化粧品検定3級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本化粧品検定2級確認テスト</li> <li>・日本化粧品検定3級授業内実施</li> </ul>		
5~6	皮膚、肌について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の構造、しくみと働き、機能</li> </ul>		
7~9	肌のお手入れと正しい知識について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肌タイプと見分け方・肌悩みの原因とお手入れ・肌悩みに応じた化粧品の使い方</li> </ul>		
10	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験対策</li> <li>・前期期末試験</li> </ul>		
11~16	日本化粧品検定2級対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問題</li> <li>・解説</li> </ul>		
17~19	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本化粧品検定2級確認テスト</li> <li>・解説</li> </ul>		
20	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験対策</li> <li>・後期期末試験</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・日本化粧品検定2級、3級テキスト		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク実習		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	大西 歩未
授業の概要				
・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・就職時に即戦力になれるようプロの接客技術を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等15年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
サロンワークに必要な技術を理解するために、学んだ技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内 容		
1~ 8	サロンワーク実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体、各サロン別ミーティング・接客、技術チェック</li> <li>・サロン実務・レポート作成</li> </ul>		
9~ 15	サロンワーク実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体、各サロン別ミーティング・接客、技術チェック</li> <li>・サロン実務・レポート作成</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布プリント		課題・レポート 出席率 授業態度	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	大西 歩未
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学ぶ</li> <li>・実務実習、就職活動に向けての事前準備</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス接客検定3級合格</li> <li>・社会人としてのマナー習得</li> <li>・専門知識、一般知識、対人技能、実務技能の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等15年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえて内容に沿って予習を行う				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	サービススタッフの資質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要とされる要件</li> <li>・従業要件</li> </ul>		
3~ 4	専門知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス知識</li> <li>・従業知識</li> </ul>		
5~ 6	一般知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会常識</li> </ul>		
7~ 8	対人技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係、接客知識</li> <li>・話し方、服装</li> </ul>		
9~ 10	実務技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題処理、環境整備</li> <li>・金品管理、社交業務</li> </ul>		
11~ 16	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問題</li> <li>・解説</li> </ul>		
17~ 24	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接の目的、自己分析(自己PR、志望動機)、履歴書作成</li> <li>・企業研究</li> </ul>		
25~ 28	就職活動対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応、訪問時、面接等のロールプレイング</li> </ul>		
29~ 30	実務実習周知会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務実習における心構え、注意事項</li> <li>・実習レポートについて</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職の手引き</li> <li>・サービス接客検定3級ガイド</li> <li>・配布プリント</li> </ul>		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務実習		ビューティコーディネーター学科/1年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(40時間)	必須	
授業の概要				
・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場を知り、仕事を知り、働く人間を理解した上で自らの将来を展望する</li> <li>・職業人として、「働く意味」「やりがい」「規律」「チームワーク」「マナー」を習得する</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~20	職場体験	・接客、清掃等さまざまなサロン内業務を通して職場を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・就職の手引き		実習・実技評価	100.0%	